



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

広報

まつざき

2018
(平成30年)

3

No.646



FULL-SATO コンサート(2/18)

「FULL-SATOプロジェクト」で作曲された「松崎町のうた」を、ソプラノ歌手の曾根妙子さんと「マーガレットコーラス」の皆さんが合唱しました。

地域おこし協力隊の活動紹介

こんにちは！私たちは松崎町地域おこし協力隊です！

現在活動している6人の隊員活動について紹介したいと思います。何かお手伝いできることがございましたら、いつでもお問い合わせください！！引き続きよろしく願いいたします。



てらだ けんご
寺田 健悟
2017年4月着任

好きな食べ物：川の味噌汁
驚いたこと：海がキレイ！

今年度は皆様に助けていただき、とても充実した1年になりました。来年度は協力隊の方から皆様の活動を積極的にお手伝いできるよう展開していく予定です。何かお困りのことがございましたら、いつでもお問い合わせください！

- ・ 棚田保全活動
- ・ 空き家お掃除協力隊
- ・ ワークショップ参加
- ・ 広域連携の展開
- ・ 松崎歴研部



たかはし ただふみ
高橋 匡史
2017年12月着任

趣味：スポーツ
得意なこと：川、海の生物の調査

昨年12月に着任しました高橋匡史です。仕事の関係でまだ活動はできていませんが、棚田を中心に活動していく予定です。活動が始まってからは今まで学んできた川や海、動植物のことを生かして棚田の活動を頑張りたいと思います。

- ・ 棚田保全活動
- ・ 棚田紹介資料作成
- ・ 棚田生き物調査活動
- ・ 体験教室企画



やまが けんじ
山賀 健司
ふるや かずなり
古屋 一成
2017年4月着任

昨年、木工塾を開講するにあたり約半年の準備期間をいただき、今年1月から開講しています。随時塾生を募集していますので、木組みで作る家具製作を本格的に習いたい方、趣味として木工をやりたい方がいらっしゃいましたら、ぜひお問い合わせください。

- ・ 木工塾「松崎工房」の運営
- ・ 講師として家具作りを指導
- ・ ワークショップの開催
- ・ クラフトフェアに出展
- ・ 松崎工房の商品企画



ほんだ ゆうすけ
本田 悠祐
2017年12月着任

趣味：流木&貝殻拾い
苦手なモノ：(体質的に)アルコール

昨年12月に着任した本田悠祐です。まだ松崎町に来て3ヶ月しか経っていませんが、多くの方々にサポートしていただいたおかげで良いスタートができました。桜葉栽培の活動が中心ではありますが、川のり養殖やどぶろく作り等、多様なことに挑戦します。

- ・ 桜葉の栽培、振興
- ・ イベントお手伝い
- ・ 即売所用のラベル製作
- ・ オオシマザクラ種保存プロジェクト



伊豆松崎ファンSUPイベント2017
ツーリングプログラム(室岩洞付近)

早いもので、今月末で3年の任期が終了。協力隊として、少しでも皆さんが笑顔になる活動をしたい、町の皆さんを巻き込んで「一緒に」地域おこしをする、ということ念頭に、水辺から地域を盛り上げる活動を中心に、子育て、文化、特産品づくりに取り組んできました。このように多岐にわたる活動ができたのも協力隊だからこそ。そして、1人では到底できなかったことを多くの仲間と力を合わせて実現でき、その喜びを分かち合えた経験は財産です。3年間関わってくださったすべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後皆さんと笑顔の広がる活動をしていければ、と思っています。よろしく願いいたします！



のなか なおみ
野中 直美
2015年4月着任

好きなモノ：海を眺めること
松崎とは？：大好きな人がたくさんいるところになりました！

- ・ イベントの企画、運営(那賀川花見舟体験、伊豆松崎ファンSUP、伊豆松崎シーカヤックマラソンお手伝い等)
- ・ 松崎発なまこ壁と綴絵を未来へつなごうプロジェクト
- ・ 松崎町「緑」concept(静岡県文化プログラム)
- ・ 未来会議まほらま(松崎産青パパイアPR企画等)

【問合せ】企画観光課 (TEL 4 2 - 3 9 6 4)

大学との連携について

企業や大学も地域活性化や地方創生に向けて活動している中、松崎町では、包括連携協定を結んでいる常葉大学をはじめ、静岡大学地域創造学環、早稲田大学社会科学部の学生が、松崎町を活動の場を選び、学習を続けています。

業論文を提出しました。来年度も、3年生を中心に棚田での活動や松崎町に関する調査等が継続されます。

今後、本を寄贈していただく予定ですので、図書館でご覧いただけるようになります。

後取り組むべきことを見出しました。今年度も、松崎町をより多くの方に知ってもらうために、まずは学生たちが松崎での体験の機会を増やし、松崎町の可能性を探っています。



▲大学生の話を聞く高校生

《常葉大学》

常葉大学社会環境学部は、平成15年から、棚田での活動や石部地区のまちづくりに関わっています。

今年度も、田植えや稲刈りの作業に参加するとともに、地場産品の販売を行う「棚田マルシェ」や、石部大地曳き網まつり等でのカフェ「いっぶく亭」を主催しました。

また、3つのグループが松崎町のなまこ壁や農業、民宿等を事例に調査し、卒



▲棚田でのマルシェ・田植えのとき

常葉大学造形学部は、松崎町内の人や文化等についてインタビューをして、絵本を製作しました。子どもから大人まで、多くの人に手に取ってもらえるように、わかりやすく絵本にまとめました。昨年12月には、伊豆文邸に置いて、自由に読めるように展示しました。



▲伊豆文邸での「絵本展」

《静岡大学》

静岡大学では、平成28年4月から、「地域創造学環」という教育プログラムがスタートし、県内各地をフィールドに勉強しています。松崎町では、「商店街の賑わい作り」と「観光と防災」をテーマに調査し、学生たちが今



▲三番叟の鼓の片付けを手伝う大学生

また、2月には、松崎高校の生徒との交流会を開催しました。前半は、商店街のモデル作りや文化・歴史の維持等のテーマについて議論をしました。後半は、大学生が大学生活について高校生に紹介し、貴重な大学生との交流の機会となりました。

《早稲田大学》

早稲田大学社会科学部では、都市計画やまちづくりについて学習していて、松崎町が、なまこ壁の建造物の保存・活用について模索していることに興味を持ち、来年度から、本格的に松崎町をフィールドにして活動を始めます。

今後、町では、町の関係人口や交流人口の増加に向けて、連携を深めていきます。

【問合せ】

企画観光課（42）3964

生涯学習だより

松崎町の生涯学習は、生涯にわたって学び、楽しみ、その成果が豊かな地域づくりに反映されることを目指しています。

今年度も住民の皆様が、自ら課題を解決し、自己を高めていくために、学習活動の場を提供してきました。

今年度の事業について報告します。

生涯学習教室

生涯学習教室は、初心者でも気軽に参加できる内容となっており、今年度は、生け花教室とデジタルカメラ教室を行いました。

生け花教室は、身近にある物を使って、季節を感じる生け花を行いました。生け花の基本を学びながら自由に花を生けました。デジタルカメラ教室は、コンパクトデジタルカメラか



▲デジタル写真教室
講師：石田博之氏



▲生け花教室
講師：文化協会 華道部（池坊）

ら本格的なデジタルカメラの使い方や選び方、基本的な撮影方法を学んだ後、実際に撮影に出かけて、作品を作りました。参加者の皆様は楽しみながら活動に取り組みました。

ジュニアボランティアクラブ

松崎町ジュニアボランティアクラブは、中高生にボランティア活動の機会を提供し、ボランティア活動への理解を深めることを目的に、平成14年度から活動を始めました。

1時間の活動を1単位とし、合計20単位取得からボランティアクラブ4級、そして静岡県青少年指導者級認定初級指導者として認定されます。

30単位で3級、40単位で2級、50単位以上で1級と認定されます。昨年度の単位認定者は、4級27人、3級3人、2級1人、1級1人の計32人でした。今年度は112人が登録し、さまざまな活動に参加しました。

活動は、夏休みや土日が中心です。特に夏休みは活動が多く、主な活動としては、松崎海岸の清掃、幼・保育園での保育補助、

各施設における介助補助、イベント等の手伝いを行いました。

今年度の活動はすでに終了しましたが、来年度も実施する予定です。ボランティア活動に興味がある中高生の皆さん、ぜひ参加してください。



▲三聖塾ボランティア
(7月下旬～8月上旬)

生涯学習公演

松崎小学校PTA教養部との共催で、生涯学習公演「ミラクル中国雑技団」を開催しました。目の前で行われる数々のパフォーマンスが成功するたびに、歓声や拍手が起りました。



▲ミラクル中国雑技団

生涯学習講演会

松崎町体育協会との共催で、シドニー五輪競泳日本代表として活躍された萩原智子さんを講師に招き、「いつも笑顔で」と題して講演会を開催しました。

生涯学習教室や公演等の開催予定については、広報まっさきお知らせ版や回覧等で参加者の募集や開催の案内をしています。

詳細は、教育委員会までお問い合わせください。

【問合せ】

教育委員会（42）3971

軽自動車の手続きは3月末までに



4月1日現在で、原動

機付自転車・軽自動車・小型特殊自動車・二輪の小型自動車のいずれかを所有している方に軽自動車税が課税されます。

廃車や名義変更等の手続きが4月1日を過ぎてしまうと、1年分の税金を納めていただくこととなります。

手続きが済んでいないと、毎年課税されるため、トラブルの元になります。手続きは3月末までお願いいたします。

軽自動車の種類	届出場所・問合せ先
・125cc以下の原動機付自転車 ・小型特殊自動車 ・50cc以下のミニカー	松崎町役場窓口税務課 (TEL: 42-3968)
・125cc～250cc以下の軽二輪車	全国軽自動車協会連合会 静岡事務所沼津支所 (TEL: 055-939-5301)
・軽自動車(軽三輪・軽四輪)	軽自動車検査協会 静岡事務所沼津支所 (TEL: 050-3816-1778)
・250ccを超える二輪の小型自動車	静岡運輸支局沼津自動車 検査登録事務所 (TEL: 050-5540-2051)

〈こんなときは手続きを〉

所有者や所有者の住所が変更になった場合は、申告が必要です。上表の各届出先で必要書類等を確認し、手続きを行ってください。

○所有者が町外へ引っ越しをする場合は、住所変更等の手続き

○所有者が死亡した場合、は、名義変更・廃車等の手続き

○盗難にあった場合は、警察に盗難届を出して、廃車の手続き(盗難届を出しただけでは課税され続けます。)

○解体処理業者等に解体を依頼した場合は、ナンバープレートや車検証等を回収し、廃車の手続き

○知人等から譲ってもらった、知人等へ譲った場合は、名義変更の手続き

【問合せ】

窓口税務課(42)3968

雲見区浅間会が県花緑コンクール「審査員特別賞」を受賞

1月13日、アクトシティ浜松で開催された「ふじのくに食と花の祭典」において、「平成29年度ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール」の表彰式が行われました。住民が主体となり花や緑による地域づくりを実践しているグループが参加する「花が自慢のまち部門・地域花壇の部(100㎡未満)」において、雲見区浅間会が「審査員特別賞」を受賞しました。



雲見区浅間会の皆さん

【問合せ】

企画観光課(42)3964

「FULLISATO」プロジェクトについて

常葉大学造形学部の山本浩二准教授が、ソプラノ歌手の曾根妙子さんや作曲家の相澤洋正さんたちと共に、「全国の里を満たす『FULLISATO』プロジェクト」松崎町と歌を育てる」として、複数年に渡り、「松崎町のうた」を制作しています。

昨年12月には、「松崎町のうた」の曲が完成し、プロジェクトシンマツピングと併せて、伊豆の長八美術館で披露されました。

この曲は、相澤さんが、松崎町の自然や風土からインスピレーションを受けて完成したもので、歌詞は、今後、町民の皆様から募集し、「松崎町のうた」を育てていきます。

1月から2月にかけては、曾根さんが、町内のコーラスグループ「マーガレットコーラス」の皆さんを指導し、2月18日に開催

された「FULLISATOコンサート」では、「松崎町のうた」を一緒に歌いました。

また、昨年、曾根さんと相澤さんは、松崎十字の園や松崎デイサービスセンターを慰問し、音楽を通じた交流を図っています。

今後も、町民の皆様が音楽を通して町の魅力に気づき、紡いでいく機会となることを目指して、活動を継続してまいります。



慰問コンサートの様子

【問合せ】

企画観光課(42)3964

My Town Topics ～まちのできごと～



「お茶の入れ方教室」

1月19、20日、菊川市茶業会にお越しいただき、伊豆文邸で「お茶の入れ方教室」を開催しました。旅館の女将等が参加し、茶葉によって異なるお茶の入れ方を学びました。



岩のり採り

2月1日、雲見区千貫門の海岸で、「岩のり採り」が行われました。参加者は、「金貝」という道具を使って、岩に付いたのりを採りました。今年は、ここ3、4年で一番の豊漁の様子です。



「光る泥団子」による帯広市との交流

2月4日、松崎幼稚園児が「親子で光る泥団子体験」を行いました。この作品と、姉妹都市の北海道帯広市内の子どもたちが作った作品が、帯広市内の藤丸百貨店で展示されました。



鬼射（おんびしゃ）まつり

2月11日、池代区日吉神社で「鬼射まつり」が行われました。日進会のメンバーが、川でみそぎを行い、代表の弓太郎が弓を射て、地域の安全を祈りました。

高校、大学と運動部に所属し、一生懸命汗をかくことが、青春の特権と
思ひ、それに酔いしれ学
業は疎かにした。しかし、
静岡銀行に入り、これか
らが本場の勉強の始まり
であるということに本能
的に感じていた。苦しく
長い稽古から解放され、
十分仕事に打ち込める時
間があった。「よし、や
るぞ」と心が躍った。
手始めに「経営分析」
という本を読んだ。そ
の本の冒頭の「涙の分
析」という文章に心が
惹かれた。涙をリトマ
ス試験紙で分析すると、
単に大量の水と少量の
塩に分析される。ここ
ろが、人間の涙には、親
子の永遠の別れの涙、
志望校に見事合格した
喜びの涙、理不尽な誹
謗中傷を受け、人知れ
ず流す悔し涙等々、涙
の種類は多岐にわたる。
金融マンたる者は財務
分析する態度として、
リトマス試験紙により

町長室からこんにちは ③

松崎町長 長嶋 精一

もちろん代表者の人柄・経歴・風評は最重要なポイントとなる。代表者は高い理想を掲げているが、その会社を訪問したところ、受付の女性2人がペチャクチャと私語を話していたら、この会社は大丈夫だろうかと思う。松崎町役場は、町民の皆様から見ても、どう思われているだろうか。

一括りで分析するような無機質な行員になってはいけないという内容であった。私はこの考え方をベースに仕事に取り組んできたことにより、社会人として大切な「理」と「情」の考え方を身に付けた。財務諸表を数期間にわたって読み込むと同時に、会社現場を見、財務の動きと現場の動きがどう原因し、結果になっているかを直視し、想像力を駆使した。

涙の分析

社会で学んだことを還元して力になりたい――

土田 明美さん（江奈）

キラリ、輝き人 No.38

土田さんは、日本画家として活躍していますが、静岡県交通安全協会下田支部顧問や静岡県警察官友の会理事、下田裁判所調停協会の調停委員、県商工会女性部連合会監査役等としても活動をしています。

交通安全に向けた活動について聞くと、「平成3年頃、県交通安全協会の女性部を作ると

いう流れがあり、当時、小学校のPTA副会長をしていたこともあって、県交通安全協会松崎地区支部の女性部長になりました。それ以来、交通事故が無くなるよう、活動に努めてきました。平成の初めから、徐々に車社会になる中で、小学生が交通事故に遭って亡くなってしまうことがありました。家族の辛さを

思うととても切なく、涙したことを覚えています。運転者はもちろん、歩行者も事故に遭わないでほしいので、各自が交通安全を意識してほしいと思います」と話してくれました。

また、調停委員としては、相談者の話を真摯に受け止め、判断するということをして、約10年間続けています。

さまざまな活動についての姿勢や今後について聞くと、「どの活動もやりがいがあり、役職が自分を育ててくれたと思っています。どの役も楽しんでやることをモットーにしているのです、苦にはなりません。日々の生活の中で、会者定離（会う者は必ず離れる運命にあるということ）を意識して、その時々

の場面は『一期一会』であるので、人間関係を大切に過ごしてきました。今後は、活動を通して得た知識や人脈等の財産を生かして、周りの方々の役に立ち、社会に還元できる自分でありたいと思っています」と話してくれました。



▶「交通安全を誓う大会」で挨拶をする土田さん



▲下田警察署松崎分庁舎内に飾られている土田さんの絵「詠訣の流れ」

Profile

つちだ あけみさん

町内松崎地区に生まれ、現在は江奈区在住です。40代で独学で日本画の勉強を始め、全国公募の新美展で大賞や内閣総理大臣賞等を受賞しています。長年、山登りを続けていて、富士山や立山・北岳等を制覇しています。

「花の日」の活動紹介

松崎町の「花の日」の活動は、「花とロマンのふるさと作り」の一環として、昭和53年に始まり現在まで継続されています。昭和53年12月の第1回目の活動には、700人が参加したそうです。

今年度も、6月・9月・1月の第3日曜日を基本に、地区ごとに活動していただいています。

1月の活動で、建久寺区では、区内のゴミ拾いを行いました。ゴミの量は以前より少なくなったよ

うですが、70Lのゴミ袋3袋分のゴミが集まりました。宮内区では、班ごとに、自宅周辺の草取りや清掃等を行いました。次回は6月となり、草取り等の箇所が増えますが、清潔な生活環境の維持と住みよい町づくりに向けて、地区ごとに協力して取り組みましょう。

【問合せ】

企画観光課(42)3964



▲建久寺区のゴミ拾いの様子



▲宮内区の草取りの様子

ストロップ！悪質商法被害～あなたも賢い消費者に⑧～

「再び増加！ ハガキによる架空請求に注意を！」

「総合消費料金未納分訴訟 最終通知書」等と題し、「総合消費料金について契約会社、ないしは運営会社から民事訴訟として訴状の提出をされました事を御通知致します」として、その差出人として「東京都*区*民事訴訟管理センター」等と、もつともらしい名称を名乗る架空請求。

この最近メールによるものが多い印象でしたが、近年、再びこのような文面でハガキを送るタイプが増えきています。既にこの連載でもお伝えしていますが、本当に裁判を起こされた場合は、ハガキでこのような通知がされ

ることはありません。このようなハガキが来た場合は、以下の対応をとるようにしてください。



- ① ハガキに記載された電話番号には絶対に電話をしない。
- ② 心配な場合は、すぐに市役所に電話相談をする。

（文と絵）司法書士 山田茂樹
【問合せ】企画観光課
（42）3964

町の人口と世帯

(平成30年1月31日現在)
()内は前月比

総人口	6,824人	(-12人)
男	3,248人	(-6人)
女	3,576人	(-6人)
世帯数	2,991戸	(-4戸)
転入	6人	転出 6人
出生	2人	死亡 14人

(1月届出分) 戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
道部	千陽	女	松本真樹

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
西区	関 宏次	88	マサ子
池代	鈴木 栄	63	けい子
門野	吉長 新作	90	貞 子
金沢	山本ふみ子	81	肇
吉田	中谷とみ子	94	司
江奈2	高橋 章	75	重 雄
東区	依田博睦	72	たみ代
江奈2	高橋かの子	91	計
東区	大石和利	86	道 雄
峰輪	藤井富子	84	秀 樹
宮内	高柳空々江	95	千 秋

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成30年1月発生分
()内は前年同月比

人身事故	0件	(-1)
物損事故	11件	(+6)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-2)

平成31年 歌会始のお題等について

○平成31年歌会始のお題

「光」と定められました。

※お題は「光」ですが、歌に詠む場合は「光」の文字が詠み込まれていればよく、「光線」、「栄光」のような熟語にしても、また「光る」のように訓読しても差し支えありません。

○詠進歌の詠進要領

詠進歌は、お題を読み込んだ自作の短歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

○詠進の期間

9月30日までとし、郵送の場合は、消印が同日までのものを有効とします。

○郵便のあて先

〒1100-8111 宮内庁

【問合せ】宮内庁

(詳細はホームページをご覧ください。)

松崎文芸

俳句

約束の再会の如帰り花
寒風の渚に晩鴉ままならぬ
春寒やホピの予言の上映会
手造りの刺身蒔菫春祭り
伊豆に住み諸種太る雨水待つ
せせらぎの音のころがる雨水かな
眠る樹々起きよ起きよと雨水かな
乾燥を和らぐ恵み雨水かな
春一番洗たく竿の踊り出し
鳥獣の里に降り来る雨水かな
たつぷりの雨水に目覚む山河かな

吉岡うた子
細矢金治
松田美智子
佐藤 享
夏目和子
鈴木 基
清水高子
石田 宏
齊藤みつ子
山本一詞
土屋規矩子